

令和5年度 施策の概要



- ①ドローンによる農薬散布(勝浦町)
- ②かんしょ機械定植(鳴門市)
- ③森林ふれあい教室(上勝町)
- ④排水樋門の整備(松茂町)

徳島県東部農林水産局

令和5年度 施策の概要

目 次

1. 所管区域及び一般的状況と特殊性	-----	1
2. 概要状況	-----	2
3. 東部農林水産局の組織体制	-----	3
4. 農業関係事業について	-----	4
5. 農村振興関係事業について	-----	7
6. 農業農村整備事業について	-----	9
7. 林務関係事業について	-----	12

1. 所管区域及び一般的状況と特殊性

(1) 所管区域

徳島市、鳴門市、小松島市、吉野川市、阿波市、勝浦郡(勝浦町・上勝町)、名東郡(佐那河内村)、名西郡(石井町・神山町)及び板野郡(松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町)の5市10

(2) 地理的状況

- ① 当管内は、県の北東部に位置し、総土地面積は1,242km²で県土の29.9%を占める。
- ② 吉野川、鮎喰川、園瀬川、勝浦川及び立江川の5河川の流域に肥沃な耕地が分布し、県下の重要な農業地帯となっている。
- ③ 吉野川の北には讃岐山脈が連なり扇状台地を形成している。南には標高1,000mを超える四国山地が広がり、地形は急峻で地すべり地も多いが、勝浦川や鮎喰川上流などにはスギやヒノキの人工林が多く、林業経営が行われている。
- ④ 気温は、年平均16℃前後であるが、雨量は北部1,300mm、南部1,500～2,500mmと徳島市を境として瀬戸内気候帯と太平洋気候帯に分かれている。

(3) 社会的状況

- ① 当管内の販売農家数は8,918戸、耕地面積は16,684haあり、それぞれ県全体の62.5%、60.0%を占め、さらに農業産出額に至っては717億円と県全体の78.8%を占めるなど本県農業の主要地域となっている。
- ② 平坦地域の水田地帯では、水稻だけでなく洋にんじん、レタス、なす、ほうれんそう、ブロッコリーなど、本県を代表する野菜が栽培されている。
また、鳴門市を中心とした砂地畑では、かんしょ(なると金時)やだいこんの栽培が行われているほか、れんこん、なしの主産地となっている。
四国山地の中山間地域では、傾斜地を利用したみかんやすだち、うめなどの果樹や山菜、花木などの生産が行われている。
いちごやなす、きゅうりなどの野菜、みかんやすだちなどの果樹、シンビジウムやユリなどの花きの施設栽培が行われており、乳用牛、肉用牛、豚、肉用鶏の飼養も盛んである。
- ③ 林業経営体は70経営体、森林面積は66,482haあり、それぞれ県全体の26.5%、21.1%を占めている。素材生産量は約3万m³で、そのほとんどが上勝町、勝浦町、神山町、吉野川市の「川上地区」で生産されている。
一方「川下地区」である小松島市、徳島市では、木材産業の集積地が形成されている。
また、ハウス施設を利用した菌床しいたけの栽培が盛んである。

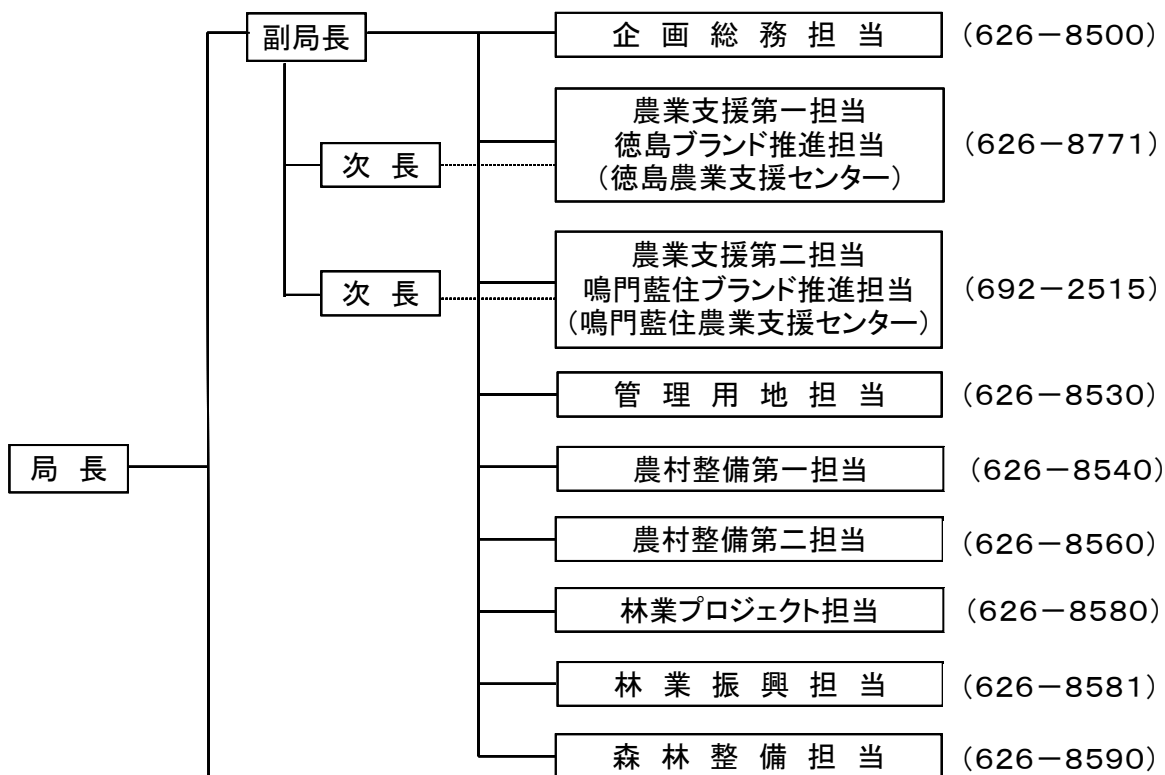
2. 概要状況

区分 市町村名	販売農家(戸)				耕地面積(ha)				林業経営 営体数 (経営体)	森林面積 (ha)
	主 業 農 家	準主業 農 家	副業的 農 家	合 計	田	うち本地	畑	計		
徳島市	446	191	963	1,600	2,330	2,310	704	3,040	17	5,045
鳴門市	423	70	351	844	873	865	885	1,760	1	7,085
小松島市	113	81	567	761	1,230	1,220	266	1,500	2	657
勝浦町	77	34	330	441	149	139	440	589	15	4,731
上勝町	32	21	104	157	68	58	80	148	8	9,691
佐那河内村	61	27	161	249	70	60	265	335	-	2,899
石井町	136	79	459	674	909	886	244	1,150	-	314
神山町	60	44	306	410	148	126	342	490	8	14,899
松茂町	106	13	45	164	88	85	231	319	-	4
北島町	24	18	64	106	149	146	49	198	-	0
藍住町	118	23	124	265	435	430	94	529	-	0
板野町	108	32	112	252	511	500	139	650	1	1,656
上板町	82	46	252	380	770	758	116	886	1	1,214
徳島庁舎管内	1,786	679	3,838	6,303	7,730	7,583	3,855	11,594	53	48,194
吉野川市	111	85	570	766	1,280	1,250	280	1,560	7	8,239
阿波市	431	244	1,174	1,849	3,000	2,950	529	3,530	10	10,048
吉野川庁舎管内	542	329	1,744	2,615	4,280	4,200	809	5,090	17	18,287
管内合計 ①	2,328	1,008	5,582	8,918	12,010	11,783	4,664	16,684	70	66,481
徳島県計 ②	2,905	1,659	9,699	14,263	19,100	18,600	8,730	27,800	264	314,915
①/② %	80.1	60.8	57.6	62.5	62.9	63.3	53.4	60.0	26.5	21.1
資 料	2020年農林業センサス				作物統計調査R5.2.28 農水産省				2020年 農林業 センサス	スマート林業課 「森林資源現況 表」R4.3.31

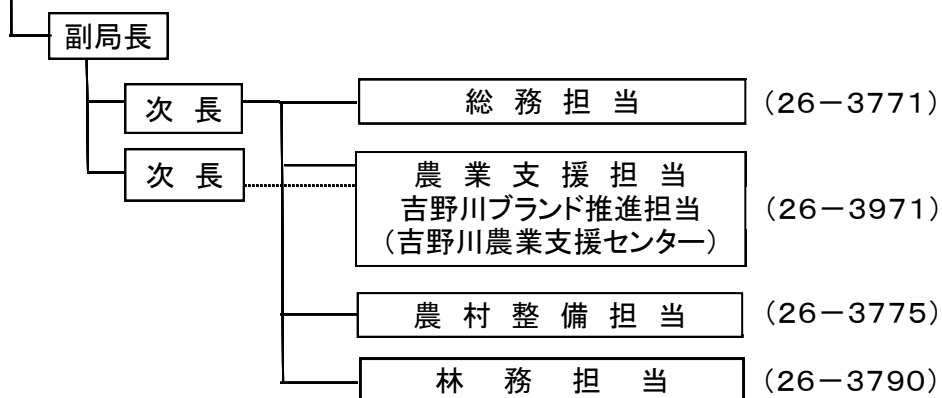
(注) ラウンドの関係で積み上げ数値と合計が一致しない場合がある。

3. 東部農林水産局の組織体制（令和5年4月1日現在）

（徳島庁舎）徳島市新蔵町1丁目67番地（電話番号 088－下記の番号）



（吉野川庁舎）吉野川市川島町宮島736－1（電話番号 0883－下記の番号）



4. 農業関係事業について

農業関係については、振興奨励事業の実施とあわせて、農林水産総合技術支援センターの内部組織である農業支援センターが兼務で設置され普及業務を行っています。センターには、農業に関する専門技術や知識を持った「普及指導員」が配置され、農業者や関係機関・団体と協力しながら、農業者の営農活動を支援し、地域の特性を生かした農業の振興や魅力ある農村づくりのために活動しています。

(主な施策)

●農業の担い手育成及び確保

農業生産力の維持・向上や農山村地域の活性化を図るためには、生産面での課題解決を図る一方、経営感覚に優れた認定農業者を始め、農業次世代人材投資資金(経営開始型)*を受給する新規就農者や青年農業者、従事者の約半数を占める女性農業者など、多様な担い手の育成・確保が重要です。

そのため、経営改善計画の作成やその実現に向けた助言・指導、就農相談活動や組織化、地域資源を活用した6次産業化の推進など、制度資金や補助事業を活用しながら、それぞれのニーズに合わせたきめ細かな支援を行っています。

*農業次世代人材投資資金(経営開始型)

独立・自営就農時の年齢が、原則49歳以下の認定新規就農者であり、次世代を担う農業者となることについての強い意欲を有し、新規就農される方に、農業経営を始めてから経営が安定するまで最長5年間のうち、経営開始1～3年目は年間150万円、経営開始4～5年目は年間120万円を定額交付。

令和4年度からは新規就農者育成総合対策(経営開始資金)に移行し、経営開始1～3年目に年間150万円を定額交付

新規就農者育成総合対策等交付金(経営開始資金・経営開始型)の
新規受給者(累計) (東部農林水産局)



徳島の未来を耕す農フォーラム



男女(とも)に築く豊かなくらしフォーラム
(労働力確保の全国的な取組についての講演)

●園芸農業の振興

園芸品目の生産拡大や省力・低コスト化に向け、主要品目ごとの課題解決プログラムの策定・実践による産地や流通の構造改革を進めるとともに、需要に応じた新たな品目・作型の導入や加工業務用野菜の生産拡大等を進めています。

また、農産物の高付加価値化や生産性の向上による産地の収益力強化のためスマート農業や、機械・施設の導入整備などに対し、支援を行っています。



梨のジョイント栽培実証ほの巡回



無人防除機の導入(ミニトマト)



ドローンによる農薬散布の実証(れんこん)



次世代型園芸施設(トマトパーク徳島)

指定野菜(指定野菜産地の当該市町村別)作付面積(令和3年度産)(東部農林水産局内) 単位:ha

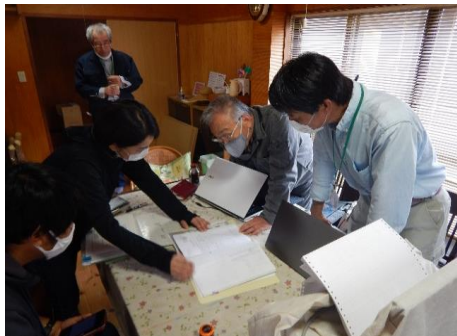
	秋冬だいこん	春夏にんじん	春レタス	冬レタス	春ねぎ	秋冬ねぎ	ほうれんそう	冬春きゅうり	冬春なす	夏秋なす
徳島市	8	67			23	40	208	2		
鳴門市	180	3								
小松島市								7		
吉野川市	27	96					13		6	7
阿波市	32	13	39	186			19		6	33
勝浦町										
佐那河内村					2	3	1			
石井町		21					95			
松茂町	25									
北島町	2						2			
藍住町		301					4			
板野町	5	330	1	3						5
上板町		62	1	9			14			3

作物統計調査(農林水産省)より抜粋

●安全・安心な食料の安定的供給

県産農産物に対する消費者や流通関係者の信頼に応えるため、安全・安心で高品質な生産供給体制の整備や安全な農産物を生産する手法であるGAP(農業生産工程管理)の導入を進めています。

また、有機質資源の循環利用による土づくりや化学肥料・化学農薬の使用量低減を一体的に行うエコファーマーをはじめとした環境保全型農業を推進しています。

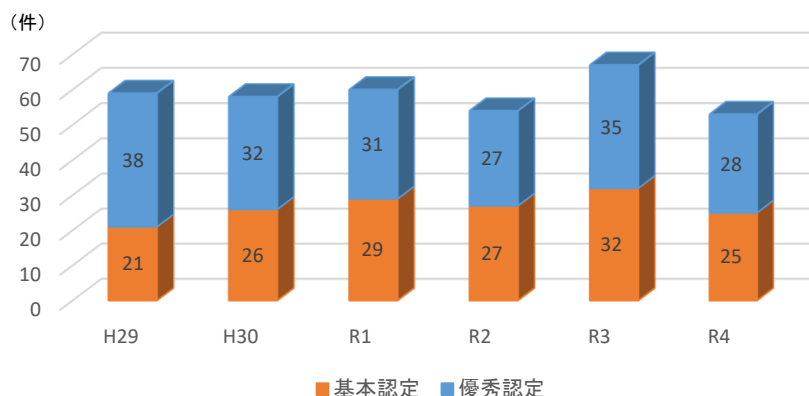


とくしま安²GAP指導



GAPの指標を用いた安全点検活動指導

とくしま安²GAP農産物認証の推移 (東部農林水産局管内)



●中山間地域等への支援

中山間地域の豊かな資源や環境を活かした新たな農作物の導入を推進するなど、特色ある農業の育成を進めています。

地域のブランド品目であるすだち、みかん、彩(いろどり)の生産において、課題となっている生産者の高齢化や担い手不足に対応するため、他市町村を含む広範な地域からの担い手を確保し育成するとともに、省力化技術の普及導入に努めています。

また、野生鳥獣による農作物の被害を軽減するため、補助事業を活用した野生鳥獣被害防止施設の設置等を推進するなど、持続可能な産地づくりを目指しています。



彩葉選別作業の様子



自走式草刈機による果樹園の除草

5. 農村振興関係事業について

(主な施策)

●中山間地域等直接支払事業

中山間地域においては、農林業の振興に加え、耕作放棄地の発生防止や農村景観の保全等多面的な機能を確保する必要があります。

令和4年度には「中山間地域等直接支払事業」の実施により、管内8市町村の114協定(徳島82、吉野川32)において、耕作放棄の防止等に向けた取り組みが行われており、また、「多面的機能支払事業」では、管内10市町の76活動組織(徳島58、吉野川18)において、地域資源の適切な保安全管理を支援しています。



檜原集落の棚田(上勝町)



水路環境の保全活動(小松島市)

●農林漁家民宿の推進

緑豊かな自然や日本の伝統的な生活・文化を残している農山漁村を訪れ、農林漁業を体験しようとする方々が増えています。そこで、過疎・高齢化が進む地域の活性化を図るため、平成20年8月に「とくしま農林漁家民宿確認要綱」を制定し、「農林漁家民宿」を推進しています。

令和5年6月1日時点で、21軒(吉野川市美郷3、阿波市3、徳島市国府町2、小松島市櫛淵町1、上勝町6、勝浦町3、神山町2、石井町1)が開業しています。



石井町 懐和の里



提供される食事の一例(きのこの里)

●農業版BCPの策定

近い将来に発生が予測される南海トラフ大地震とそれに伴う大津波災害や直下型地震では、農地や農業用施設が甚大な被害を受け、ブランド産地が維持できない状況になるおそれがあります。

県は被害想定地域の早期復旧を可能にするため、「農業版BCP(事業継続計画)」および「農業版BCP直下型地震編」を策定し、関係する自治体や農業団体等と対策協議会を設置するとともに、計画を具現化する研修、訓練などを行っています。



BCP会議



BCP訓練

6. 農業農村整備事業について

(主な施策)

●経営体育成基盤整備事業

区画整理を中心とした生産基盤の総合的な整備や、既に整備された施設の老朽化に対応した更新及び機能向上整備を行い、高生産性農業の実現と担い手の育成を支援しています。

鳴門市大津町では、クリークの発達した低湿地が広く存在しレンコンが多く栽培されています。一部の地域では排水路及び農道が整備されておらず、安定した農業経営の阻害要因となっていました。このため、排水路や農道の整備による農作業の効率化、担い手農家への農地集積による規模拡大など、農業経営の安定と優良農地の保全を図っています。令和5年度は、管内2地区で実施しています。



広がるレンコン田と整備された農道・排水路

実施地区(令和5年度)		
地区名	市町村名	施設の種類
大幸	鳴門市	農道・排水路
和田島	小松島市	ほ場整備



整備後の排水路(鳴門市 大幸地区)



整備後の農道(鳴門市 大幸地区)
(給水栓は国営附帯農地整備事業 大幸西で整備)

●農業水利施設保全対策事業

農業水利施設の老朽化が進んでおり、修繕や更新が必要な施設が増加しています。施設の機能診断を行い、保全計画を策定、長寿命化を図ることにより、財政負担を平準化しつつ、高生産性農業の実現と担い手の育成を支援します。令和5年度は、管内32地区で事業を実施しています。

実施地区(令和5年度)		
地区名	市町村名	施設の種類
喜来	松茂町	排水樋門
大津東部	鳴門市	排水機
田野揚水機場	小松島市	揚水機
伊沢田排水機場	阿波市	排水機
その他		28地区
計		32地区



樋門改修完了(松茂町 喜来地区)



排水機 改修状況(小松島市 石見川地区)



改修後の用水路(阿波市 古毛川排水路地区)

●農道整備事業

農業の振興を図る地域では農道網を有機的かつ効率的に整備することにより、農産物の輸送労力やコストの縮減による農家所得の向上や生活の場としての農村環境の改善に寄与しています。

広域農道、一般農道、基幹農道等様々な規模の農道整備事業を活用しながら整備を進めています。

実施地区(令和5年度)		
事業名	地区名	市町村名
広域農道整備事業	徳島東部3期	徳島市, 佐那河内村, 勝浦町, 上勝町
	吉野川中部3期	吉野川市
一般農道整備事業	上板	上板町
基幹農道整備事業	勝浦南部上3期	勝浦町
	忌部6期	吉野川市



整備済みの農道(勝浦町 勝浦南部地区)
勝浦南部上3期に接続



みかんの収穫状況(勝浦町 勝浦南部地区)

●国営附帯県営農地防災事業

吉野川下流域及び那賀川下流域では、農水省が行う「国営総合農地防災事業」により、水質の悪化による農業被害の防止や用水管理の省力化を目的とした幹線用水路の整備が進んでいます。

徳島県では、この関連事業として、水質の改善や用水路のパイプライン化、用水路の改修・改良等による用水管理の省力化に取り組んでおり、令和5年度は、管内2地区において事業を実施しています。

実施地区(令和5年度)	
地区名	市町村名
大津東部東2期	鳴門市
那賀川・小松島	小松島市



用水路補修(那賀川・小松島地区)



揚水機場と調整水槽(大津東部東2期地区)



揚水機場(那賀川・小松島地区)

●ため池等整備事業

老朽化した農業用ため池からの漏水や決壊による農地及び人家等への災害を未然に防止するため、耐震性の調査やため池の利用、管理状況を踏まえた防災対策に取り組んでいます。

令和5年度は、管内2地区において改修工事を実施しています。

実施地区(令和5年度)		
地区名	市町村名	施設の種類
第1金清池	阿波市	ため池
古志田池	吉野川市	ため池



保全対策が完了したため池(吉野川市 塚池地区)

●とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業

社会貢献等に前向きな企業・大学・NPO法人等と応援を求める農山漁村地域の間を県が取り持ち、農作業支援や地域の活性化活動等を両者の協働により実施しています。

農山漁村地域の維持保全に役立つことはもちろん、新たな交流により人・物・心の活性化が促され、双方にメリットのある協働活動が展開されています。

協働活動実績(令和4年度)	
徳島庁舎管内	延べ12日間実施
吉野川庁舎管内	延べ3日間実施



応援し隊(勝浦町)



応援し隊(吉野川市川島町)



活動状況(勝浦町)



活動状況(吉野川市川島町)

7. 林務関係事業について

(主な施策)

● 林業プロジェクトの推進

平成17年度から5次にわたり実施してきた「林業プロジェクト」では、充実した森林資源を有効に活用し、森林所有者の所得向上と林業事業体の育成を図るため、高性能林業機械※と作業道(幅員2m程度)を組み合わせた「新間伐システム」による効率的な間伐材の生産を推進しています。また、平成17年度から合板やMDF※への利用など川上から川下までが一体となったプロジェクトを進めることで搬出間伐※をはじめとした木材利用を促進してきました。

「林業プロジェクト」への取組により、主伐から植林、保育までの「森林サイクル」の確立を図り、県産材のさらなる増産と多様な担い手の育成定着による林業の成長産業化を推進します。

※高性能林業機械

- ・スイングヤーダ: 伐倒した木を作業道まで引き出す機械
- ・プロセッサ: 伐倒した木を枝払いし長さを切り揃える機械
- ・フォワーダ: 切り揃えられた木材を積載し運搬する機械

※MDF: 木材を繊維に分解加圧し板状にした中質繊維板

※搬出間伐: 間伐材を木材として利用するため山から搬出すること



三点セットによる搬出間伐(勝浦町)



コンテナ苗灌水施設(徳島市)

● 林業の担い手対策(1)

地域の林業がさらに発展するためには、担い手の育成確保が重要であり、林業アカデミーや緑の研修制度を活用し、担い手の確保に務めるとともに、実際に現場で作業を行っている方々や林業普及指導員が中心となって技術力や生産性向上に向けた指導を行っています。

また、林業労働の安全意識を高めるため、国の機関や林業労働災害防止協会など関係機関と合同で安全パトロールを実施しています。

さらに、森林・林業の重要性を理解してもらい、将来の就職へと繋げるため、林業研究グループ等と連携し、高校生を対象とした林業のインターンシップや森林林業教室などを行っています。



高校生のインターンシップ(神山町)



安全パトロール(神山町)

●林業の担い手対策(2)

日常生活から森林が疎遠となってしまった現代において、森林林業への関心を高め、意識の醸成を図っていくことが、次世代への林業担い手候補の拡大へとつながります。

小学生から高校生までを対象に、各々の習熟度や経験に合わせ、学びと経験の場を提供することで、未来を担う林業や関連業種で活躍する人材育成を目指します。



上勝小学校 森林教室
～上勝町生実雄中面にて～



城西高校出張授業
～城西高校にて～



城西高校神山校 環境デザインコース2年次 樹木観察
～徳島市植物園にて～



城西高校神山校 森林女子部 樹木観察
～神山森林公園イルローザの森にて～

●木材加工施設等の整備

管内は県内木材消費量の大半を占め、合板及びMDF(中質繊維板)の加工施設が立地する等、大型製材工場や木材加工施設が集積し、徳島県の林業を支える大きな力となっています。



国産材大型製材工場(小松島市)



国産針葉樹を利用した
合板工場(小松島市)



MDF工場(小松島市)

●特用林産物の振興

徳島県の「生しいたけ」は全国1位の生産量を誇り、その県内生産の約80%を管内で産出しています。更なるブランド力向上に向けた様々な取組を支援し、安全安心で安定した「生しいたけ」の生産を推進しています。



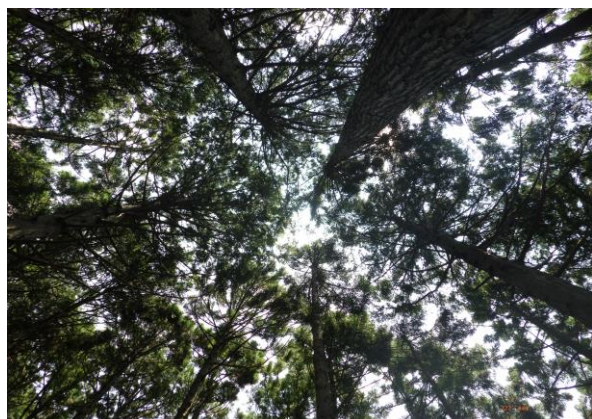
しいたけの菌床栽培(徳島市)



●森林環境の適切な管理

森林法に基づき多角的機能の発揮を期待し指定した保安林や、森林の適切な開発と利用を促すための林地開発許可制度の運用により、森林環境の適正な整備・保全を行っています。

また、森林病虫害等の防除についても関係自治体等の協力を得ながら推進しています。



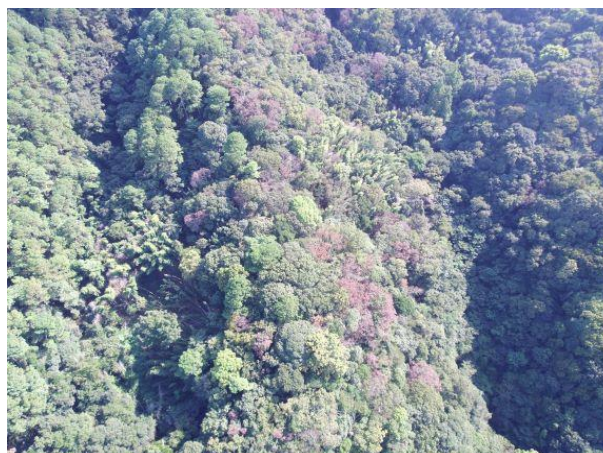
水源かん養保安林(勝浦町)



林地開発許可地(鳴門市)



森林病虫害等防除事業の状況(松茂町)



森林被害の状況(ナラ枯れ病)

●狩猟と野生鳥獣の保護管理

近年、野生鳥獣による農作物被害や生活環境被害が増大し、加害する野生鳥獣の管理と人との共生のあり方が求められる状況となっており、適正な管理を進める上で重要な役割を担う狩猟者育成に取り組んでいます。

一方で、野生鳥獣の生息環境や人間による土地利用の変化等から、保護の対象とはしていない傷病鳥獣に関する連絡も依然として多く、「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」の基本理念の理解が深まるよう適正な保護・管理に努めています。



ハンティングスクール(わなの設置)

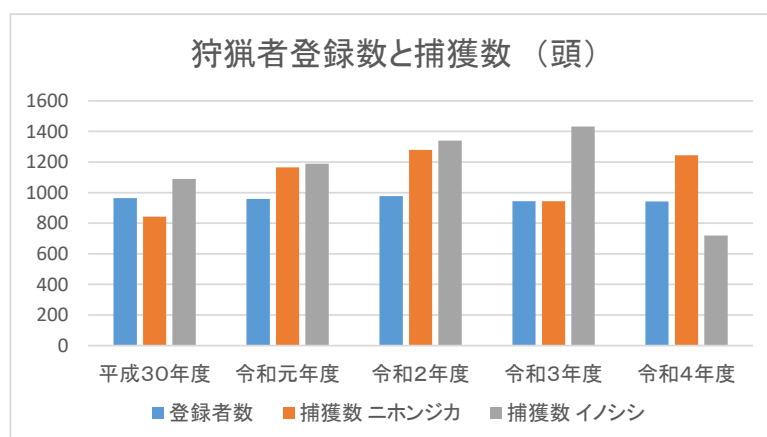
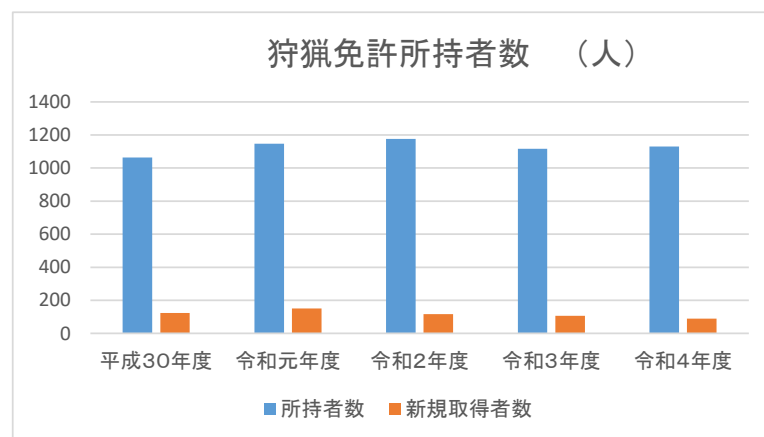
希少種の保護(オオミズナギドリ)

傷病鳥(キビタキ)

●狩猟免許所持者数の推移(東部管内)

直近5年間の狩猟免許所持者数は、1000人程度であり、新規の狩猟免許取得者数は、年間約100人、網・わな猟免許取得者が約6割前後を占めています。

野生鳥獣の適正管理に重要な役割を担う狩猟免許所持者を確保するため、免許試験実施の回数を増やしたり、初心者向けの研修会を実施しています。



● 治山事業

近年、地球温暖化の影響に伴う台風の大型化や、大雨をもたらす線状降水帯等により、山地に起因する災害が頻発化・激甚化する中、県民が安全で安心できる豊かな暮らしを実現するため、治山施設や地すべり防止施設の整備、既存施設の長寿命化対策を計画的に実施しています。

また、治山施設整備とあわせて、山地災害防止に向けた普及啓発や山地災害危険地区の調査・点検パトロールなどのソフト対策も実施しています。

【復旧治山事業】

山腹崩壊地や侵食されたり土砂が堆積している溪流などの荒廃山地を復旧整備し、山地災害を防止・軽減するための事業です。

【神山町勘場谷地区】



溪流に不安定な土砂が堆積



工事完了(治山ダム工)

【予防治山事業】

山腹崩壊が起こりそうな危険箇所や侵食等により荒廃の兆しのある溪流などにおいて、事前防災・減災対策として治山施設の整備を行う事業です。

【上勝町樋口地区】



落石及び倒木が発生



工事完了(山腹工)

【地すべり防止事業】

地すべり防止区域として指定された地域において、集水井工や排水ボーリング工等の地すべり防止施設を整備することにより、地すべり被害を除去又は軽減し、人家や公共施設等を守るための事業です。

【吉野川市倉羅地区】



地すべりの原因となる地下水を排除する集水井工

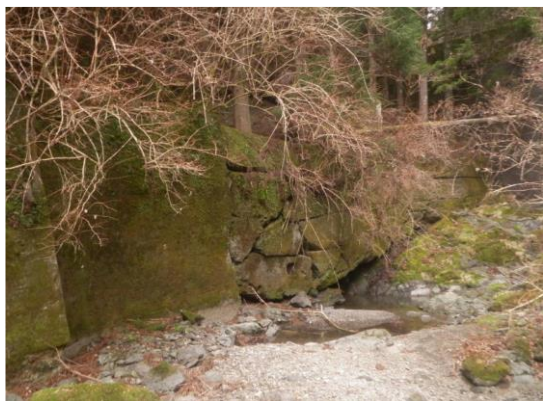


雨水等を速やかに地すべり区域外へ排水

【機能強化・老朽化対策事業】

既存の治山施設が将来にわたり機能を適切に発揮し続けるよう、長寿命化計画に基づき、老朽化する施設を維持・更新する事業です。

【上勝町炭ノ向地区】



既存施設の老朽化が進行



工事完了(護岸工)

●山地防災活動

毎年、「山地災害防止キャンペーン」(5月20日から6月30日)期間中、集中的に市町村職員や山地防災ヘルパーとの連携による、山地災害危険地区のパトロールや治山施設の点検を行っています。



ドローンによる調査状況



治山施設の点検状況

●林道事業

森林資源のさらなる活用を目指す「スマート林業プロジェクト」を推進するうえで重要な、基盤整備事業を実施しています。

管内においては、佐那河内村大川原と上勝町を経由し神山町柴小屋に至る広域的な林道(大川原旭丸線)をはじめ、市町村と連携し整備を進めています。



大川原旭丸線 大川原工区
(既設林道を利用した伐採・搬出状況)



生実八重地線 八重地工区
(地形を利用した線形による開設)



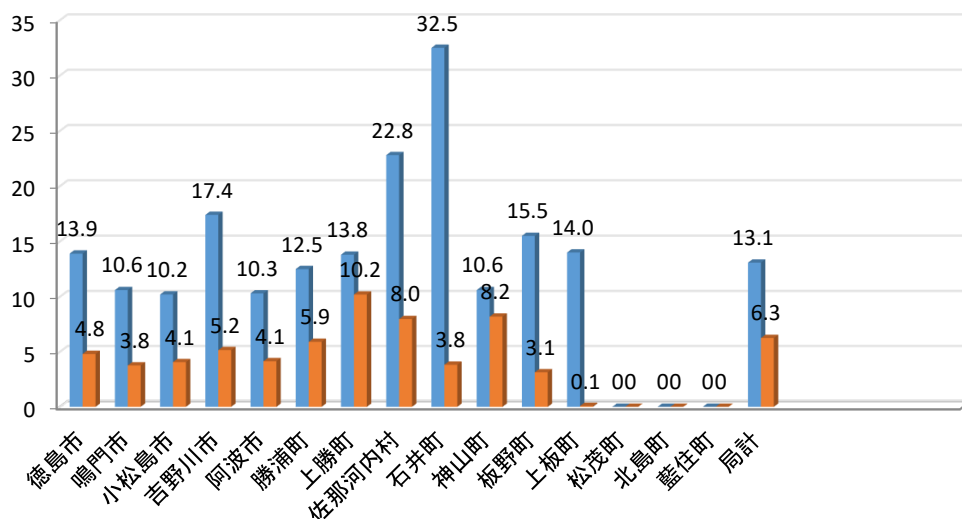
大川原旭丸線 大川原工区
(既設林道を利用した間伐状況)



生実八重地線 八重地工区
(林道を利用し、搬出間伐(列状)を実施)

●管内市町村別林内道路密度

市町村別林内道路密度(m/ha)



※森林の単位面積当たりの道路延長

■公道 ■林道

●管内の林道開設の効果

開設した林道を起点に森林所有者が必要とする作業道が開設される等、木材資源の積極的な利用に繋がる事業を推進しています。

また、開設した林道沿いには風力発電施設が設置され、メンテナンスにも林道が活用されています。

【基幹となる林道の状況】

豊富な森林資源の利用を考慮し開設された林道 生実八重地線(上勝町)



開設された林道沿いには、風力発電が設置された 大川原旭丸線(上勝町)



【開設中の状況】





発行 徳島県東部農林水産局
編集 徳島県東部農林水産局<徳島>
企画総務担当

